

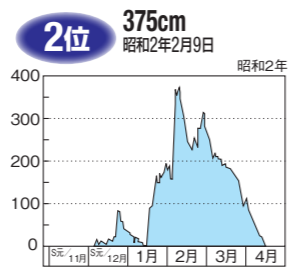
1 高田の雪トップ5

高田特別地域気象観測所(旧高田測候所)の雪に関する記録(1923~2020年)を抜粋しました。

最深積雪 最大トップ5



1位 377cm
昭和20年2月26日
終戦の年で物資欠乏、男手の無い時に未曾有の大雪、苦勞の連続。



2位 375cm
昭和2年2月9日
高田の連隊が大正天皇の大裏に参列。帰途、列車不通関山より徒歩で帰營。



3位 324cm
昭和61年2月6日
3年連続の豪雪、やはり連続大雪の最後は一番多い。雪国はコリコリの声。



4位 298cm
昭和60年1月30日
59年に続きました大雪。雪崩の発生多く雪下ろし中の死亡者、県内47名。



5位 292cm
昭和59年2月17日
12月中旬からの大雪、戦後最大の大雪。直江津駅2mの雪でマヒ状態。

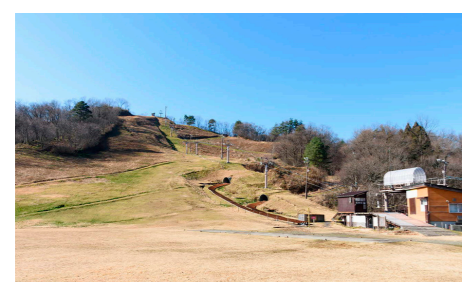
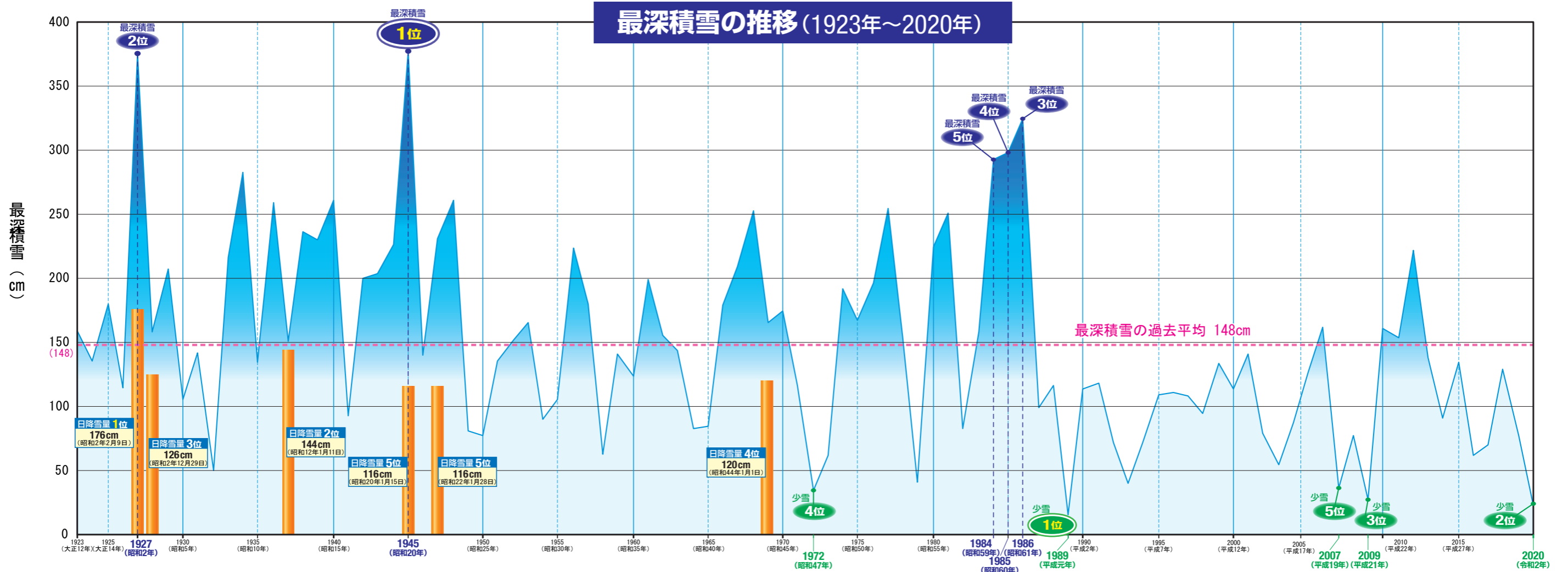


雪に埋もれた列車(臨野田駅付近)

昭和2年臨野田駅付近(現在の上越妙高駅)
出典:「上越市史通史編5 近代」上越市



昭和59年2月上越市大和地先

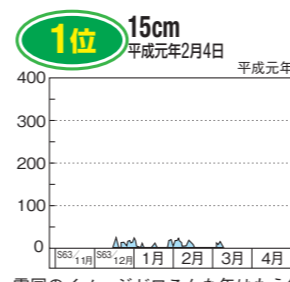


令和2年1月金谷山スキー場

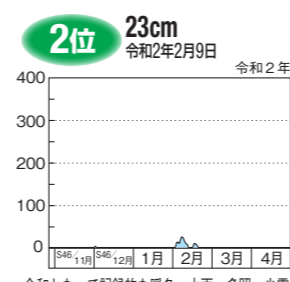


令和2年2月上越市大町地先
※資料提供:上越市タウンジャーナル

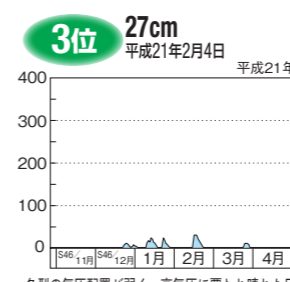
最深積雪 最小トップ5



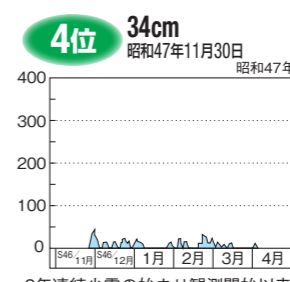
1位 15cm
平成元年2月4日
雪国のイメージゼロこんな年はもう無いだろう。東京より少ないのだから。



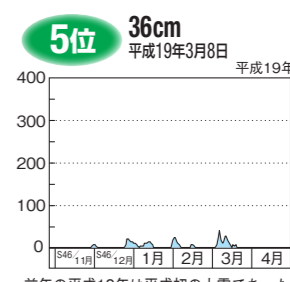
2位 23cm
令和2年2月9日
令和となって記録的な暖冬、小雨、多照、少雪となった。降雪量合計は74cmと過去最少ない。



3位 27cm
平成21年2月4日
冬型の気圧配置が弱く、高気圧に覆われ晴れた日が続いた。平年より降雪量は少なく暖冬となった。



4位 34cm
昭和47年11月30日
3年連続少雪の始まり観測開始以来の最少となる。11月に最深積雪がでた。



5位 36cm
平成19年3月8日
前年の平成18年は平成初の大雪であったが、平成に入ってから3番目の少雪となった。